

【今日の説教から】

今日の箇所では愛の力強さが描かれています。

1コリント 6:10にはこのようにあります。

「すべてのことは許されている。しかし、すべてのことが益になるわけではない。すべてのことは許されている。しかし、すべてのことが人の徳を高めるのではない。だれでも、自分の益を求めるで、ほかの人の益を求めるべきである。」

私たちには揺れ動くことのない愛の標準があります。それはイエス・キリストによって示された神様の愛です。

「わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである」その神様の愛の姿は、「わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。愛する者たちよ。神がこのようにわたしたちを愛して下さったのであるから、わたしたちも互に愛し合うべきである。」とある通りです。

神様がここまでして、それほどの犠牲を払って私たちを愛してくださったのならば、私たちが支払うことのできない犠牲があるでしょうか。神様の愛を知れば知るほど、私たちの心は固く定まるのです。

「愛には恐れがない。完全な愛は恐れをとり除く。恐れには懲らしめが伴い、かつ恐れる者には、愛が全うされていないからである。」恐れはありません。しがらみも躊躇もありません。「わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったから」ここに生命線があります。

皆様、おはようございます。いよいよ8月も目前、暑い盛りがやってまいりました。皆様お元気にお過ごしでしたでしょうか。

パリオリンピックもついに始まりました。金メダルをかけた熱い戦いが始まりました。

オリンピックの開会式の聖火点灯の後、エッフェル塔の上からカナダの歌手、セリーヌ・ディオンが闘病中の身を押して、迫力ある「愛の賛歌」をうたい上げたのが大変に印象的でした。

愛の讃歌 作詞者 エディット・ピアフ

青空が落ちてくるかもしれない
地球が壊れるかもしれない
そんなことはどうだっていい あなたが私を愛してくれるなら
世の中のことなんてどうでもいいの
愛が毎朝を満たしてくれる限り
あなたの手の下で 私の体が震える限り

悩み事など どうだつていい
愛する人よ、あなたが私を愛してくれるなら
世界の果てまで行くわ
髪を金色に染めるわ
もし あなたがそう望むなら
お月様を盗みに行くわ
宝物も盗みに行くわ
あなたがそう望むなら
祖国も捨てるわ
友人だって捨てるわ
あなたがそう望むなら
人は私を笑うでしょうけれど
私はなんでもするわ
あなたが 私にそう望むなら
いつか 人生が私からあなたを奪っても
あなたが死んでしまっても、あなたが遠くへ行ってしまっても
あなたが私を愛してくれるなら 私は大丈夫
だって 私も死ぬのだから
私たちは 二人のために 永遠を手に入れる
広い青空で
悩み事のない空で
愛する人よ、私たちは愛し合っているわね
神様は 愛し合う二人を結びつけてくれるわ

(和訳 frenchais.france.abc ホームページより)

「本作の歌詞は 1947 年 10 月、ピアフがアメリカ初公演時に出会い、恋の相手であったプロボクサー、マルセル・セルダンが 1949 年 10 月 28 日に 33 歳で飛行機事故で亡くなったのを悼んで作られたと言われてきたが、セルダンの生前に書かれたものであることが判明している。相思相愛で誰もが知る仲ではあったが、妻子を持つセルダンとの恋愛に終止符を打つために書いたものだと考えられている。セルダンはラモッタとの再戦に向け当初は航路で行く予定だったが、コンサートでニューヨークにいたピアフの「早く会いに来て」との言葉により空路で行くことを決めた。ピアフは女優のマレーネ・ディートリヒとニューヨーク・ラガーディア空港でセルダンを出迎える予定だった。ディートリヒは墜落の報をピアフへ伝えた。ピアフは激しい悲しみと衝撃に襲われたが、予定の公演を行うことを決めた。親

友を思うディートリヒは「あなたが死ねば、私も死ぬ」という歌詞がある『愛の讃歌』だけは歌わないように求めたが、ピアフはこの日発表する予定だったこの歌を歌うことを決め、舞台で歌った。」（wikipediaより）

これは恋愛の歌ですが、恋焦がれた人のためならば何でもするという情熱的な詩が書かれています。人が人に恋するとき(ピアフの場合は不倫関係ですからその点は肯定できませんが)、人はこうも大胆に自分を捨て、愛する人のために何でもしてもかまわないという心情になるものであるか、驚かされますが、この歌はシャンソンを代表する曲として世界で親しまれています。

「愛の讃歌」といえば、聖書に並ぶものはないと思います。

4:7 愛する者たちよ。わたしたちは互に愛し合おうではないか。愛は、神から出たものなのである。すべて愛する者は、神から生れた者であって、神を知っている。

4:8 愛さない者は、神を知らない。神は愛である。

4:9 神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。

4:10 わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。

4:11 愛する者たちよ。神がこのようにわたしたちを愛して下さったのであるから、わたしたちも互に愛し合うべきである。

4:12 神を見た者は、まだひとりもいない。もしわたしたちが互に愛し合うなら、神はわたしたちのうちにいまし、神の愛がわたしたちのうちに全うされるのである。

これこそが不朽の「愛の讃歌」です。

神様がこれほどに私たちを愛してくださったのです。私たちもどうして、このように愛の深い神様に愛の讃歌を捧げずにいられますでしょうか。

神様は、イエス様を通して私たちの罪を贖い、私たちが滅びることなく永遠のいのちを持つようにしてくださいました。

ヨハネ 3:13 天から下ってきた者、すなわち人の子のほかには、だれも天に上った者はない。

3:14 そして、ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければならない。

3:15 それは彼を信じる者が、すべて永遠の命を得るためにである」。

3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためにである。

3:17 神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世

が救われるためである。

私たちは、ここまでして愛してくださった父、子、聖霊の神様に対して、どれほどの燃える愛をもって愛の讃歌を捧げるのでしょうか。

旧約聖書ホセア書 11 章には神様の燃える愛が記してあります。

11:1 わたしはイスラエルの幼い時、これを愛した。わたしはわが子をエジプトから呼び出した。

11:2 わたしが呼ばわるにしたがって、彼らはいよいよわたしから遠ざかり、もうもろのバアルに犠牲をささげ、刻んだ像に香をたいた。

11:3 わたしはエフライムに歩むことを教え、彼らをわたしの腕にいだいた。しかし彼らはわたしにいやされた事を／知らなかった。

11:4 わたしはあわれみの綱、すなわち愛のひもで彼らを導いた。わたしは彼らに対しては、あごから、くびきをはずす者のようになり、かがんで彼らに食物を与えた。

11:5 彼らはエジプトの地に帰り、アッシリヤびとが彼らの王となる。彼らがわたしに帰ることを拒んだからである。

11:6 つるぎは、そのもろもろの町にあれ狂い、その門の貫の木を碎き、その城の中に彼らを滅ぼす。

11:7 わが民はわたしからそむき去ろうとしている。それゆえ、彼らはくびきをかけられ、これを除きうる者はひとりもいない。

11:8 エフライムよ、どうして、あなたを捨てることができようか。イスラエルよ、どうしてあなたを渡すことができようか。どうしてあなたをアデマのように／することができようか。どうしてあなたをゼボイムのように／扱うことができようか。わたしの心は、わたしのうちに変り、わたしのあわれみは、ことごとくもえ起っている。

11:9 わたしはわたしの激しい怒りをあらわさない。わたしは再びエフライムを滅ぼさない。わたしは神であって、人ではなく、あなたのうちにいる聖なる者だからである。わたしは滅ぼすために臨むことをしない。

11:10 彼らは主に従って歩む。主はししのほえるように声を出される。主が声を出されると、子らはおののきつつ西から来る。

11:11 彼らはエジプトから鳥のように、アッシリヤの地から、はとのように急いで来る。わたしは彼らをその家に帰らせると／主は言われる。

11:12 エフライムは偽りをもって、わたしを囲み、イスラエルの家は欺きをもって、わたしを囲んだ。しかしユダはなお神に知られ、聖なる者に向かって真実である。

11:8(新改訳聖書) エフライムよ。わたしはどうしてあなたを引き渡すことができようか。イ

スラエルよ。どうしてあなたを見捨てることができようか。どうしてわたしはあなたをアデマのように引き渡すことができようか。どうしてあなたをツェボイムのように行くことができようか。わたしの心はわたしのうちで沸き返り、わたしはあわれみで胸が熱くなっている。

11:8(新共同訳)ああ、エフライムよ／お前を見捨てることができようか。イスラエルよ／お前を引き渡すことができようか。アドマのようにお前を見捨て／ツェボイムのように行くことができようか。わたしは激しく心を動かされ／憐れみに胸を焼かれる。

ここに神様の、私たちへの深い深い愛があります。

4:13 神が御靈をわたしたちに賜わったことによって、わたしたちが神におり、神がわたしたちにいますことを知る。

4:14 わたしたちは、父が御子を世の救主としておつかわしになったのを見て、そのあかしをするのである。

私たちは、まさしく聖靈によって、イエス様にある神様のご愛に気づきました。

私たちは、こんなにも愛してくださるお方のうちにいたのか、この方と共に、この方のうちに生きている、この方にとどまり、この方のうちに住んでいるということを知らされるのです。

父なる神様は御子を世の救い主として私たちにお遣わしになられました。その不動の、愛の証しは今日まで、そして永遠に輝いています。そして私たちもその神様の愛を証しするのです。

4:15 もし人が、イエスを神の子と告白すれば、神はその人のうちにいまし、その人は神のうちにいるのである。

神様が、その愛と憐れみにあふれて、私たちの救いのために愛する神様の一人子イエス様を遣わしてくださったと信じる人は、魂の救いを得ています。神様は私たちのうちにおられ、とどまり、生きておられ、信じる者と共に住んでいらっしゃいます。そして私たちも神様のうちに、共にいるのです。

4:16 わたしたちは、神がわたしたちに対して持つておられる愛を知り、かつ信じている。神は愛である。愛のうちにいる者は、神におり、神も彼にいます。

「神様がわたしたちに対して持っておられる愛」！

私たちはついにその神様の愛に気づいたのです。神様の愛を知り、それを信じ、神様の愛に生かされ、愛のうちにとどまり、生き、住み、そして私たちは神様の中に、神様と共にとどまり、生き、住むのです。神様が私たち信じる者の中にとどまり、生き、住んでくださるのです。何という密接な関係なのでしょうか。

4:17 わたしたちもこの世にあって彼のように生きているので、さばきの日に確信を持って立つことができる。そのことによって、愛がわたしたちに全うされているのである。

そのような神我と共にあり、神、我と共にある密接な関係の中で、私たちは「この世にあって彼のように生きている」のです。

神様の愛の中にあって、私たちは私たちのあこがれであるイエス様のように生きることを願うのです。「愛の讃歌」の中で歌われたように、恋焦がれた人が、「あなたが求めることは何でもする」というのと同じです。私たちは神様と、イエス様に対して、そのように恋焦がれる関係にいるでしょうか。世の中のあまたの恋愛に勝って、私たちを究極的に愛して下さる神様を愛しているでしょうか。求めてやまず、夜ニヒルに恋焦がれてこの方のことばかり考えているという思いでいるでしょうか？

これが神様の、私たちに対する思いです。これが神様の愛の極まりであり、憐れみと愛とでお心が沸き返り、胸が熱くなっている神様の愛です。

私たちがその神様の愛のうちに住まい、とどまり、生きているのならば、そして神様も、愛をもって私たちのうちにとどまり、生き、住んでくださるのなら、さばきの日に確信を持って立つことができます。最後の審判、裁きを恐れる必要は全くありません。神様の愛がわたしたちに全うされているからです。

4:18 愛には恐れがない。完全な愛は恐れをとり除く。恐れには懲らしめが伴い、かつ恐れる者には、愛が全うされていないからである。

このように愛してくださる方の愛を知っては、私たちは無敵の存在として生きていくことが出来ます。むしろこのような方がいらっしゃるのに恐れおののいていては、このお方を喜ばせることはできません。すべてを赦し、すべてを覆い、すべてをかばう愛を知りながら、未だ懲らしめを恐れてすくんでいる必要はないのです。この方の愛によって心満たされ、他に何者も愛する者はいない、あなただけだと告白する者の心には、何も恐れがないのです。それでも恐れがあるとしたら、それでも何でもあなたについていきます、何でもあなたの引っ越しの通りにさせてくたせさいという心がないのならば、その人の心に恐れがあるのならば、その人の心には神様への愛が全うされていないのです。愛が完全になっていないので

す。

4:19 わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである。

4:20 「神を愛している」と言いながら兄弟を憎む者は、偽り者である。現に見ている兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することはできない。

4:21 神を愛する者は、兄弟をも愛すべきである。この戒めを、わたしたちは神から授かっている。

神様がまず私たちをどのように愛してくださったのか、その愛を心に噛み締め味わいましょう。そして神様が私たちを愛してくださったことを知らないものになるのではなくて、十分すぎるほどにくりかえし味わい、感謝し、愛してくださる神様に目をくぎ付けにして、神様が愛してくださったように私たちも互いに愛していきましょう。まずは信仰を同じくする兄弟姉妹から。現に目の前に見ている兄弟姉妹を愛さないものは目に見えない神様を愛することはできないとある通りです。神を愛する者は、兄弟をも愛すべきである。この戒めを、わたしたちは神から授かっています。

私たちは、神様に愛の讃歌を捧げ、そして神様と密接な蜜月関係を頂いて、神様が愛してくださるように、それと同じように、目の前にいるすべての人に愛を実行して生きていきたいと願います。

◇祈祷；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。主の愛の力強さをお教えください、私たちの生きる道を教え、導いていてくださいまして、本当にありがとうございます。人生の道に迷いそうになる時、あなたのご愛が私たちを照らし、導きます。どうぞ私たちをあなたの愛の中で照らし、導き、行くべき道をたどることが出来るようにお守りください。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン